

緩和ケアチームニュース

～オピオイド鎮痛薬専用の便秘薬！セットで使おう スインプロイク®～

腸管のオピオイド受容体に拮抗し、便秘を予防します

オピオイド鎮痛薬を投与すると、中枢のオピオイド受容体に作用して鎮痛効果を発揮しますが、腸管（末梢）にも作用して腸の動きを鈍くし、便秘を引き起こしてしまいます。



スインプロイク®（ナルデメジン）は腸管（末梢）のオピオイド受容体のみをブロックするため、オピオイド鎮痛薬の効果に影響せず便秘を予防します。

☆使い方のPOINT☆



オピオイド鎮痛薬開始と同時に開始しましょう。

（例：ナルサス®開始当日朝にスインプロイク®（1錠）内服）

使うときに注意する点は？

オピオイド鎮痛薬の導入初期の悪心も軽減するかも…



- すでにオピオイド鎮痛薬を使用している患者さんにスインプロイク®を導入する際、一時的に排便が頻回になる可能性があることを説明しておきましょう。
（スインプロイク®の作用発現時間は内服後4～5時間程度が目安）
- 宿便や溢流性便秘が疑われる場合、スインプロイク®を十分に作用させるため坐薬や浣腸などの便処置を行ってから導入することも検討しましょう。
- スインプロイク®は下剤ではありません。使用中の患者さんが下痢になった場合でも、休薬しないことをお奨めします
（休薬⇔再開を繰り返すと排便コントロールが安定しにくい）

☆ミニトピックス☆ 「溢流性便秘とは？」

便秘が進行し、直腸内に長時間便が貯留することで糞塞栓となり、周囲の粘膜が炎症を起こすことで糞便塞栓となり、硬便の周囲から水様便のみが漏れ出す状態のこと

緩和ケア科HPは
こちらから

